

# 7日 日曜

マルコ

3:7 それから、イエスは弟子たちとともに湖の方に退かれた。すると、ガリラヤから出て来た非常に大勢の人々がついて来た。また、ユダヤから、

3:8 エルサレムから、イドマヤから、ヨルダンの川向こうや、ツロ、シドンのあたりからも、非常に大勢の人々が、イエスが行っておられるることを聞いて、みもとにやって来た。

3:9 イエスは、群衆が押し寄せて来ないように、ご自分のために小舟を用意しておくよう、弟子たちに言われた。

3:10 イエスが多くの人を癒やされたので、病気に悩む人たちがみな、イエスにさわろうとして、みもとに押し寄せて來たのである。

3:11 汚れた靈どもは、イエスを見るたびに御前にひれ伏して「あなたは神の子です」と叫んだ。

3:12 イエスはご自分のことを知らせないよう、彼らを厳しく戒められた。

3:13 さて、イエスが山に登り、ご自分が望む者たちを呼び寄せられると、彼らはみもとに來た。

3:14 イエスは十二人を任命し、彼らを使徒と呼ばれた。それは、彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ、  
3:15 彼らに悪靈を追い出す権威を持たせるためであった。

3:16 こうしてイエスは十二人を任命された。  
シモンにはペテロという名をつけ、

3:17 ゼベダイの子ヤコブと、ヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルグ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

3:18 さらに、アンデレ、ピリポ、バルトロマ



Bible Reference  
聖書の記述

イ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、

3:19 イスカリオテのユダを任命された。このユダがイエスを裏切ったのである。

イエス様は多くのみわざを行われましたが、それは旧約に預言された救い主であることを示すためであって、ご自分の名声を上げるためではありませんでした。ですから多くの人が押し寄せても、ご自分の王国を作ろうとはなさらなかったのです。

私たちは主のために働きを始めて、それがうまくいったり讃められたりすると、何か動機に変化が生じて、自分の得になることを思わず求めてしまうことがあります。イエス様のために生きるならイエス様を見習いましょう。

悪靈はイエス様が救い主であって、自分たちを滅ぼすために地上に来られたということを知っていました。そしてもちろんイエス様の敵であることには違いありません。真理を知っていることは大切ですが、必ずしも徳にはなりません。真理であるイエス様に従うことです。

イエス様は弟子を選ばれ、彼らを後の靈的なリーダーにしましたが、それはあくまでもイエス様ご自身が「お望みになる者たち」でした。このように教会のリーダーは、イエス様によって選ばれる必要があります。もしも規則が選挙であるなら、投票者はイエス様のみこころをよく知って、従いつつ投票する必要があります。それができなければ神の群れは神様から離れていくことになってしまいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしななど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

